

みちのく銀行旧稲生町支店活用方針

1. 活用方針

市民の意向及び庁内検討の結果を踏まえ、みちのく銀行旧稲生町支店の活用方法を以下に整理します。

現施設を解体・撤去し、安全性と利便性に優れた新しい施設を整備する

方針1：現代美術館のサテライトとして“アート”を展開できる施設

方針2：市民や観光客が柔軟に利用できる多用途施設

方針3：中心市街地のにぎわいの創出と魅力向上を図る施設

2. 基本方針の具現化に向けて

1) 道路拡幅

周辺交通の利便性向上を図るため、大学通りの拡幅または簡易な右折レーンの設置について、必要な調査に取り組むとともに関係機関との協議を進めます。

2) 建設用地

寄附物件を有効に活用し中心市街地の活性化を図るため、市民検討委員会における意見等も踏まえ、周辺の土地の買収による一体的な整備を検討します。



3) 建設規模

新たな施設に求められる機能や施設規模等については、「基本計画」において具体的に精査していきます。

【想定面積】

建設用地	約 2,000 m ² （うち、旧みち銀約 540 m ² ）
建物面積	約 500 m ² ～700 m ² アートスペース、オープンスペース、管理スペース 等
その他面積	約 1,300 m ² ～1,500 m ² 道路拡幅用地、屋外フリースペース 等